



# 糖尿病の治療の流れ



経過	初診
検査	採血・採尿  (必要な場合行います。 糖負荷検査時に行うこともあります)
治療	問診 今までの病歴と飲んでいるお薬を聞き取りします。診察をして何の検査をするか決定します
説明指導	糖負荷検査を行う場合、看護師より食事、薬、事前準備、当日の検査の流れについて説明します
備考	当院オリジナルファイルを渡します 糖負荷検査を希望され、検査条件を満たしていれば、当日検査も可能です



検査予約日	糖負荷検査(2.5時間) 計4回採血・採尿を行います。 腹部超音波検査 身長、体重測定
診察	前回診察からの体調の変化などの確認をします  検査結果等あれば説明をします
栄養相談(管理栄養士より)	診察の度に毎回あるいは少なくとも4回は受けていただきます。初回は詳しく生活習慣の聞き取りをします 個人の生活スタイルに合わせ、無理のない範囲で、様々な角度から食事に関して提案をします
糖負荷検査前に下記を確認します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日より飲酒していない</li> <li>・前日夕食は21時までに済ませる</li> <li>・当日食事を抜いている</li> <li>・内服薬の確認</li> </ul>
水・お茶類の飲水は可能です(乳製品、糖分はやめてください)	



糖負荷検査4日目以降に予約	検査結果がでます
診察	検査結果から糖尿病のタイプを判断をします 個々の血糖コントロール目標値の設定(年齢層により変化します) インスリン抵抗性の程度の判定をし、治療方針を決定します
栄養相談(結果により必要に応じて)	看護師より糖尿病に関する新しい情報や生活改善・薬の飲み合わせなど不明な点について必要に応じて説明します
治療の優先順位	



原則として1回/月の通院	採血・採尿1回/月 (薬の量が適正か確認する為)  体重測定(検査のある時のみ)
診察	検査結果により血糖値が目標値へコントロールできるように投薬量を調整します  症状・合併症危険性や状態に合わせ、検査を決定します
栄養相談1回/数ヶ月	血糖値や体重の状況に合わせて、具体的な説明を行います
HbA1cが高く、合併症の危険性が高い方に看護師より生活習慣改善のポイントや糖尿病についてを詳しく説明します	
最も重要かつ優先すべきは“食事療法”です。次に運動、最後に薬物療法です。いくら良い薬が出ても、食事を守ることができなければ、その効果は半減してしまいますし、長続きしません 看護師、管理栄養士が皆さまをサポートします ご相談ください	